



「Be the Chain」

学年主任 對馬 洋介

片手に剣、もう片方には宝珠の乗った蓮華。さて、どなたのことか覚えていますか。先日の「十三詣」で富田先生の話された「虚空蔵菩薩」のことです。

「虚空蔵菩薩」は悟りを開こうと修行中の身にも関わらず、尽きぬほど広大な智慧を持ち、福德を持って衆生を救う役目を負っているのだそうです。「灌頂^{かんじょう}」という頭の頂に知恵を授ける行為とともに君たちの「蔵」に生きる知恵が備わり、子どもから「大人」への第一歩でもあるとのことでした。



「大人」とはいつからなのか。「大人」とは何なのか。社会的、身体的、精神的、経済的と切り口はいくらでもあると思いますが、正解はありません。言えることは君たちは「自分探し」の途中、「執行猶予」中なのです。心理学者のエリック・H・エリクソンはそれを「モラトリアム」と呼びました。人が一人前の大人として社会に出る前の青年期(12~22歳)の、社会的な責任や義務を果たすことを猶予されている期間を表す概念(最近ではネガティブなイメージがありますが)です。

「大人」になるということは、「つながりたい人」とだけつながるのではなく、「つながりたくない人」ともつながらなければならない時がくることでもあります。自分のことだけではなく、無条件に「他人」のために何かをするということです。その際の「耐性」と「立ち位置」を身に付けていく必要があります。それは先日の早稲田大学でのラグビー体験で体験した人も多はず。1回目の試合では、両チームともただボールに群がっていました。ところが、2回目の試合ではコーチの話や他のチームの動きを見ることで、ボールを持っていない際の「立ち位置」もしくは、どこまでボールを一人で抱え、押しこまれているのを「我慢」し、どこでチームメイトにボールを渡すのか等、ラグビーという「社会」の中では、トライするという目的のために日頃はつながりの薄い人とも一定の時間を共にし、他人のために何かをしたはず。「自発的に自分の役割を身につけていくこと」がこれからは求められます。

“Be the Chain.” 早稲田大学ラグビー部の旗には、そう書いてあります。ラグビーは皆が強い「鎖」の一部となり、ゴールまでボールをつなげます。『チームメイトのみならず、地域の方を

含めた「社会」や世界の人との「つながり」の意味もある』と部のマネージャーさんは述べていました。

虚空蔵菩薩の手にある剣は、人を傷つける武器ではありません。「鋭い知恵」を表しています。しかし、これも使い方によっては、もちろん人を傷つける武器となります。君たちは「蔵」に知恵をため込みながら、その武器の「使い方」と社会との「つながり」を強めるために、この「猶予」を利用しない手はないのです。



《合唱祭に向けて》

教室掲示の合唱通信にも記載されていますが、改めて紹介します。学年、クラス全員で盛り上げていきましょう。

【学年合唱曲】「ふるさと」

【各クラス合唱曲】

A組「Yell」

B組「ひこうき雲」

C組「愛唄」

D組「にじいろ」

E組「キセキ」

F組「遠く遠く」

《保護者の皆様へ》

先日18日は「公開授業」でした。日頃なかなか見ることができない学習の様子をご覧いただけましたでしょうか。教員と生徒が一緒になり、作り上げるのが授業です。本校でも全国の学校同様に講義形式のみならず、先生方の創意工夫の元、様々な切り口での授業を展開しています。学力とは「日々の授業の積み重ね」と「その復習(課題含)」が全てです。この積み重ねが結果として2020年度の入試改革への対応にもなります。ご家庭におかれましても、授業の大切さをお話しいただければと思います。

すでに案内をお渡ししました通り、今週23日(木祝)は、ラグビー観戦です。先日体験会でお世話になりました部員も出るそうです。チケットは前日に事前に生徒に配布いたします。外での観戦となります。防寒対策をお願いいたします。

《Classi 配信情報》

十三詣の各クラスの集合写真とラグビーの学年写真を配信してあります。ぜひご覧ください。